

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2009年50週 (12月2週 12/7 ~ 12/13)

2009年11月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

新型インフルエンザ(A/H1N1)

集団かぜの発生について

RSウイルス感染症

病原体検出情報

定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス、マイコプラズマ等

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(38)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(1)、急性脳炎(4)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)

2009年11月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

## トピックス

新型インフルエンザ(A/H1N1)

インフルエンザサーベイランス [警報発令中]

愛知県全体の50週の定点当たり報告数は30.6、前週比0.9倍(総数6,507人 5,969人)です。

### 【参考ページ】

1. “インフルエンザ”警報を発令します! (10月8日発表・ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000027831.html>

2. 保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

3. オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスについて(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000029039.html>

4. 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)に関する情報(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000024466.html>

5. 新型インフルエンザに関する報道発表資料(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/houdou.html>

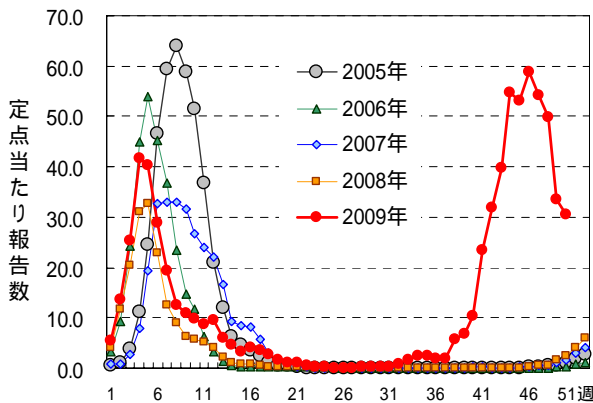


図1 インフルエンザ定点当たり報告数の推移(2009年31週から新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告)

集団かぜの発生について(健康対策課新型インフルエンザ対策室発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第67報	12月10日	半田、春日井、豊川、江南、新城、知多、師勝	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000029019.html">http://www.pref.aichi.jp/0000029019.html</a>
第68報	12月11日	瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、江南、新城、衣浦東部	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000029036.html">http://www.pref.aichi.jp/0000029036.html</a>
第69報	12月14日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、西尾、新城、師勝、衣浦東部	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000029073.html">http://www.pref.aichi.jp/0000029073.html</a>
第70報	12月15日	半田、春日井、豊川、津島、師勝、衣浦東部	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000029113.html">http://www.pref.aichi.jp/0000029113.html</a>
第71報	12月16日	一宮、瀬戸、春日井、豊川、津島、西尾、知多	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000029144.html">http://www.pref.aichi.jp/0000029144.html</a>

RSウイルス感染症

50週の定点当たり報告数は0.68、前週比1.2倍(101人 123人)です。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

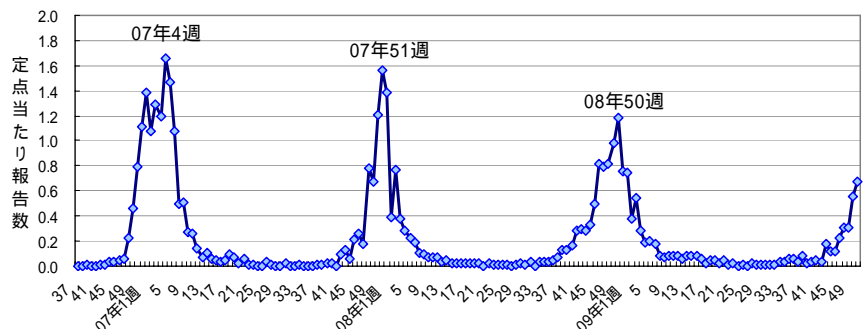


図2 RSウイルス感染症(2006年36週~2009年50週)

インフルエンザは 2008/2009 シーズン、( )内は 2009/10 シーズンの検査結果です。

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎 脳症	インフルエンザ
患者数	205	31	73	16	48	26	20	338(414)
PV-2	2							
PV-3	1							
CV-A6		6	16				1	
CV-A10	3	5	21	1				
CV-A16		4						
EV-71		5						
CV-A9						2		
CV-B3			1			2		
CV-B4						4		
E-9			3					
E-11							1	
E-18		1						
HPeV-1	3							
FluAH1pdm								74(156)
FluAH1							1	126(0)
FluAH3								52(0)
FluB								28(0)
Rota A G1	13							
Rota A G3	4							
NV-G	1							
NV-G	36							
SV	1							
AstV	1							
Ad-1	1		1	2				
Ad-2	5		2	1				
Ad-3	1			7	4		3	1
Ad-5				1				1
Ad-8					4			
Ad-31	1							
Ad-41	4							
Ad-54				1	1			
検査中	15	1	2		5	3		0(256)
陰性	114	9	27	3	34	15	14	57(2)

略:ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス

FluAH1 : A 型連型インフルエンザウイルス

NV : ノロウイルス

AstV : アストロウイルス

FluAH1pdm : 新型インフルエンザウイルス

PV : ポリオウイルス

CV : コクサッキーウイルス(Cox.)

FluAH3 : A 香港型インフルエンザウイルス

Rota A : A 群ロタウイルス

E : エコーウイルス

FluB : B 型インフルエンザウイルス

SV : サボウイルス

EV-71: エンテロウイルス 71 型

HPeV-1 : ヒトパレコウイルス 1 型

関連ページ

1) 「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2) 「2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08\\_09.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

インフルエンザA型 14名  
【一宮市 後藤小児科】  
マイコプラズマ感染症 1名  
【一宮市 ささい小児科】  
マイコプラズマ感染症 1名  
【一宮市 城後小児科】  
1名A、B共に陽性、そろそろ季節性が出てきたようです。  
【一宮市 かすがい内科】  
マイコプラズマ肺炎 5歳女  
【稲沢市 野村整形外科】  
インフルエンザA型11月と12月の2回陽性の  
児いました(今回は、季節性の可能性大)。  
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】  
新型インフルエンザワクチンは罹患者が多く  
キャンセルが増加しております。区分を細かく  
分けすぎたため接種時期を逸した感があります。  
カンピロバクターが3歳児で4名ありました。  
【犬山市 武内医院】  
感染性胃腸炎ふえてきました。  
インフルエンザはまだ減ってきません。  
【江南市 河野小児科】

インフルエンザ少なくなりましたが小流行  
続いています。  
感染性胃腸炎増加しています。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
新型インフル46例と減少。  
季節性インフルA(+ )1例。PCRにてH3N2と判明。  
今年3月のH3N2のウイルスより変異あり。  
RSウイルス著増。  
感染性胃腸炎増えてきました。  
【岩倉市 なかよしこどもクリニック】  
A型インフルエンザ3例(すべて新型と思わ  
れます)。  
【扶桑町 いずみ内科】  
再び、インフルエンザAが増えて参りました。  
地域的に流行し、学級閉鎖もあります。  
【清須市 丹羽医院】  
インフルエンザA型 10名、インフルエンザ  
B型1名。  
感染性胃腸炎患者が増えてきました。  
【北名古屋市 田中クリニック】  
インフルエンザA型40名。  
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

A型インフルエンザはへっていますが、B型  
インフルエンザがではじめました(2名)。  
RSウイルス感染症あります。  
病原大腸菌(O1)1歳男。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
インフルエンザ(A型)26名。  
その他水痘、突発疹等。  
比較的落ち着いた一週間でした。  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
A型インフルエンザ7名。  
【豊明市 豊明団地診療所】  
A型インフルエンザ30例。  
感染性胃腸炎増加。  
RSV感染症、溶連菌感染症少々。  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
A型インフルエンザの流行が落ち着いてき  
ています。  
RSウイルス感染症、水痘が増えています。  
【春日井市 春日井市民病院】  
インフルエンザは横ばい、RSウイルス感染  
症および感染性胃腸炎(ロタウイルス以外)が  
増加しています。  
【小牧市 志水こどもクリニック】  
RSウイルス感染症が増えてきています。  
インフルエンザもあいかわらずです。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザ総数131名(うち小児は72名)  
でした。  
感染性胃腸炎、RSウイルス感染症も流行し  
ています。  
【小牧市 小牧市民病院】  
当院近辺ではインフルエンザは沈静化して  
きました。  
代わりに、胃腸炎が増加傾向にあります。  
【春日井市 かがわこどもクリニック】  
インフルエンザA 23名  
マイコプラズマ感染 25歳女(320倍)  
【半田市 医療法人林医院】  
インフルエンザA型 78名  
【半田市 半田市立半田病院】  
A型 76名  
4歳男 サルモネラO4 1名  
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】  
A型インフルエンザ 22名  
【南知多町 医療法人大岩医院】  
マイコプラズマ感染症 多  
【美浜町 厚生連知多厚生病院】  
インフルエンザA型 36名。  
RSウイルス陽性 1名(1か月児入院)。  
感染性胃腸炎が目立ちました。  
【東海市 もしもしこどもクリニック】  
17歳男 病原大腸菌O1(+ )ペロトキシン(- )  
カンピロバクター(+ )  
19歳女 インフルエンザB型(+ )  
3歳男 インフルエンザB型 疑陽性  
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA型 51名  
インフルエンザA・B未確定 9名  
インフルエンザB型 1名  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
季節性インフルエンザを疑う二峰性の発熱の患者が数名いました。

インフルエンザA型 21名  
マイコプラズマ 3名  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
インフルエンザ 陽性 A型 20名  
【豊田市 厚生連足助病院】  
インフルエンザはすべてA型。  
RSウイルス散発。

【岡崎市 花田こどもクリニック】  
インフルエンザ感染症 依然多いです。  
幼児に増えてきました。(全例A型)

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
4歳女 病原性大腸菌O1(+)VT(-)、カンピロバクター

2歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】  
10歳女 マイコプラズマ肺炎

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
全てA型のみ。

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザ23名 全てA型。8か月男が  
ありました(今シーズン2人目の乳児)。

【岡崎市 粟屋医院】  
インフルエンザA型 15名

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
インフルエンザ減少傾向。  
RSウイルス感染症増加。  
嘔吐症も増加傾向。

【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザはA型。

【刈谷市 田和小児科医院】  
インフルエンザA 75名、また増加しました。  
インフルエンザ肺炎 3名

【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザがかなり少なくなりました。

【三好町 三好町民病院】  
感染性胃腸炎が増加してきました。  
インフルエンザは全てA型 36人、ピークは  
過ぎた感じです。

【西尾市 山岸クリニック】  
アデノウイルス感染症 2歳男  
病大菌 5歳男 [O1 VT(-)]  
インフルエンザは、すべてA型です。

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

RSウイルスが出てきました。  
インフルエンザA型流行中。  
感染性胃腸炎が増えてきました。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
インフルエンザ減少中(先週比 2割減)、B型  
7名います。

【豊橋市 医療法人野村小児科】  
インフルエンザA型 34名、30歳以上 13名。  
【豊橋市 おだかの医院】

インフルエンザすべてA(+)です。  
【豊川市 豊川市民病院】  
カンピロバクター 3歳男  
インフルエンザ(すべてA型)はさらに少なくなりました。

水痘、おたふくかぜが増えました。  
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2009年12月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki\\_jun080512.pdf](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun080512.pdf)

結核（二類感染症）

報告保健所	2009年50週報告数			2009年累計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	24	9	2	822	236	129
豊田市				74	18	17
豊橋市				54	14	5
岡崎市	3	1		46	16	7
一宮				119	33	24
瀬戸	3	3		143	45	21
半田				63	17	10
春日井				103	28	17
豊川	2			53	22	8
津島				87	20	7
西尾	1			41	8	7
江南	2		2	94	21	22
新城	1			14	5	2
知多	1			85	27	19
師勝	1	1		42	19	2
衣浦東部				117	36	23
合計	38	14	4	1,957	565	320

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	36歳	男	- / -	12 / 7	12 / 9	O157、VT1(+)/VT2(+)、無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊田市	92歳	男	肺炎型	国内
2	一宮	68歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	師勝	81歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病原体	推定感染地域
1	豊田市	18歳	女	インフルエンザA	国内
2	瀬戸	7歳	女	インフルエンザ AH1pdm[新型インフルエンザ(A/H1N1)]	国内
3	瀬戸	6歳	女	インフルエンザ AH1pdm[新型インフルエンザ(A/H1N1)]	国内
4	津島	2歳	女	インフルエンザ AH1pdm[新型インフルエンザ(A/H1N1)]	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	知多	77歳	女	古典型

2009年11月報 (2009年12月7日現在)

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [診断日に基づく集計。( )は無症状病原体保有者再掲。]

2008～2009年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2009年11月			2009年 累計 <愛知県全体>	2008年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	70 (12)	68 (12)	138 (24)	1,859 (305)	2,054 (331)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (0)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	6 (0)	4 (0)	10 # (0)	200 (52)	167 (32)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (1)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	2	1
	A型肝炎	0	0	0	5	4
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	1	0
	Q熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	1	1	2	3	6
	デング熱	1	0	1	6	12
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0
	日本脳炎	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	0	2
	マラリア	0	0	0	0	6
	ライム病	0	0	0	1	0
	レジオネラ症	3	1	4	40	57
五類 (14)	アメーバ赤痢	4	1	5	53	58
	ウイルス性肝炎	1	0	1	17	15
	内訳					
	B型	1	0	1	11	15
	C型	0	0	0	6	0
	急性脳炎	5	0	5	23	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	7	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	9	10
	後天性免疫不全症候群	3	3	6	81	109
	内訳					
	無症候性キャリア	1	1	2	41	55
	AIDS	2	1	3	30	47
	その他	0	1	1	10	7
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	0
	梅毒	7	3	10	45	69
	内訳					
	無症候	3	3	6	18	26
	早期顕症	4	0	4	26	40
	晩期顕症	0	0	0	1	2
	先天梅毒	0	0	0	0	1
	破傷風	0	0	0	4	12
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	6
	風しん	0	0	0	10	3
	麻しん	0	0	0	27	198
	総計	102	81	183	2,416	2,832

#; 026;1件、0157;9件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2009年11月			2009年 累計	2008年 総計
		愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	80	52	132	1,571	1,890
	性器ヘルペスウイルス感染症	20	19	39	571	693
	尖圭コンジローマ	25	15	40	427	502
	淋菌感染症	25	30	55	643	789
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	75	9	84	1,019	1,203
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	1	6	131	106
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	5	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに入から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。



愛知県感染症情報

2009年50週(2009年12月7日～2009年12月13日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	123	5,969	13	119	1,033	172	28	9	102	5	6	46	0	3	0	0	7	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	37	12	102	4,915	11	78	701	132	23	8	82	4	4	34	0	1	0	0	6	0
名古屋	70	70	11	15	5	21	1,054	2	41	332	40	5	1	20	1	2	12		2			1	
尾張東部	9	9	2	3	1	2	226	1	2	29	11	2		4			1					3	
海部津島	7	7	2	2	1	2	328	1	9	95	7	4		9									
尾張中部	4	4	1	1			100		3	11	2												
尾張西部	16	12	3	4	1	15	294	1	8	28	3	2		4	2		1						
尾張北部	9	9	2	3	1	27	588	3	10	94	10			11		2	5		1				
	6	6	1	2		14	167	2	13	78	24		5	7			2						
知多半島	6	6	1	2	1	2	356		6	32	2			5	2		4						
	7	7	2	2		8	268	3	4	45	5			1			4						
西三河南部	11	7	2	2	1		448		1	19	11	1		9			1						
	13	13	2	4	1	24	585		8	69	16	2	1	8			6						
	5	5	1	2	1	2	147		1	20	10			3			1						
西三河北部	9	9	2	4	1	4	493		3	49	6			9		1	4					1	
東三河南部	12	8	2	4	1	1	547		5	100	11	8		8			1					2	
	9	8	1	2	1	1	350		5	32	12	4	2	4		1	4						
東三河北部	2	2			1		18				2												

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告



愛知県感染症情報

2009年50週(2009年12月7日～2009年12月13日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	102	4,915	11	78	701	132	23	8	82	4	4	34	0	1	0	0	6	0
～6ヶ月	11	14			4	6			1									
～12ヶ月	15	67		1	54	6	1		34									
0歳																		
1歳	31	192	3	1	135	31	7		44		1	1						
2歳	24	217	5	3	84	24	4		3									
3歳	15	301		13	74	23	3				1	1					1	
4歳	5	459	2	9	69	23	3	3				5					1	
5歳	1	500		13	56	7	2	1		1	1	6						
6歳		474	1	10	28	7	1	1			1	7						
7歳		309		8	23	1		2				4						
8歳		281		3	30	3						3						
9歳		231		5	8	1						5						
5歳～9歳																	3	
10歳～14歳		658		9	44							2						
15歳～19歳		290		1	11					1								
20歳～				2	81		2	1		2								
20歳～29歳		373															1	
30歳～39歳		308																
40歳～49歳		137																
50歳～59歳		63																
60歳～69歳		28												1				
70歳～																		
70歳～79歳		12																
80歳以上		1																

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告